

阿部ワールド？の卒業生

30年前の同僚であった看護師等が、私のリタイヤに関連する集いを開いてくれました。

まあ、要は私のリタイヤをダシにしての同窓会といったところか。10数名が集い、中にはお互い30年ぶりの再会の人もいたようです。県内はもちろんのこと、北海道、神奈川からも駆けつけてくれました。話を聞くにつけ、正直、彼女達が看護師になって間もない青春時代に、かなり自分が影響を与えていたのだなあとつくづく感じました。

今は、その後進学して保健師の資格を取り直し老人支援センターで活躍の人、保育所の健康管理者として統合保育の中で障害児に係わり続けている人、老人デイケア施設や療護施設で健康管理を担う人、介護用品展示室のアドバイザー、等々、それぞれユニークに現場で活躍中の人も。彼女達もこの30年間に、結婚、子育てとそれぞれの人生を過ごしながらも、なお青春時代に得たものを、こうして持ち続けてくれていることは何よりも嬉しい。青春時代に共感し合った仲間って不思議なもので、一瞬の内に30年の歳月が吹き飛び、あの頃のように議論、アドバイスし合う場面の再現（やはり、阿部ワールド（？）の卒業生（？）故か）。

今の自分があるのは、こうしたひたむきに生きる若者に出会ったことが支えであったと実感でき、感謝、感謝の一言。

人との出会いとその出会いを活かし、互いに影響し合うことがどんなに自らの人生を豊かにしてくれるかを、今の若者（学生）達にも語り伝えたいとの想いを更に強くした一夜でした。

（2002年10月06日 記）